

第8学年 社会科学習指導略案

日 時 6月7日(水) 第5校時
 対 象 8年3組 27名
 場 所 8年3組教室 西校舎2階
 指導者 教諭 植松 寿行

1 単元名 「日本の地域的特色」

2 単元のねらい

- 日本の地域的特色(自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信など)から課題を見だし、日本のさらなる成長に向けてどのようなことに取り組むべきかを探究し、表現する。

3 単元計画 (11時間)

時	学習活動(概要)	エデュスクラムの活用(8~10時)
1	日本の地形	・エデュスクラムを行う上で、教員が作成したワークシートやレポート課題に取り組みさせることで、基礎的な知識を理解させる。また、小テストやレポートを行うことで知識の定着度を測る。 ・本単元の目標、課題への取り組み方、評価内容などについてはブックに記載しておくことで生徒自身が自律的に取り組めるようにする。 ・フリップ、業務報告シートはタブレットで取り混ぜ、効率化を図る。 ・完成の定義は、教員が指定することで発表資料の質ができる限り同じになるようにする。
2	日本の気候と自然災害	
3	日本の人口と資源・エネルギー	
4	日本の農林水産業と工業	
5	日本の産業と交通網	
6	まとめレポート1	
7	単元テスト、まとめレポート2	
8	課題の説明 エデュスクラム1	
9	エデュスクラム2	
10	エデュスクラム3	
11(本時)	発表	

4 自律的、協働的な学びを充実させるための手だて

○ねらいや学習活動

本単元では、「日本の地域的特色(自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信など)から課題を見だし、日本のさらなる成長に向けてどのようなことに取り組むべきかを探究し、表現する。」ことをねらいとしている。そのため、「日本の成長戦略を考える」という課題を設定し、エデュスクラムを活用した学習活動で取り組むことにより、自律的、協働的な学び充実させていく。

○アイテムやフリップ、完成の定義

フリップはデータ化し、タブレット端末上で操作できるようにする。それにより、アイテムがたくさん出ても整理しやすく、いつでも各自が他の班員の取り組み具合を確認できる。そして、完成の定義は、教員の方で設定した。内容としては、「発表資料や発表原稿にある言葉の意味を理解しているかを班長に確認してもらう」である。言葉の意味が分からないまま、ただインターネット上の情報を写して発表し、学びが深まっていないという現状を踏まえ、このように設定した。生徒間で完成か否か確認できる為、自律的・協働的な学びに繋がると考えられる。

○ブック

ブックには、生徒自身で進めていけるように「①今回のテーマ②目標③授業の進め方④発表資料の作成手順・ルール⑤グループ学習の流れ⑥評価規準」について載せた。また、④発表資料の作成手順・ルールの内容には、教科書と併用して使うことも含まれているため、単元のねらいにそった学びに向かえと考えた。

○手だて

フリップやブック以外の手だてとして、8～10時間目では、毎時間、最初と最後に5分間のミーティングを行うように設定している。また、活動途中でミーティングを行うかは班ごとの判断に任せる。ミーティングの時の話し合いの材料として、タブレット端末上に業務報告シートという班員だけの連絡掲示板を作成した。このシートは、教員からもコメントができるので、有意義なミーティングできるように適宜コメントをしていく。

5 本時（11／11）

(1)本時のねらい

○日本の地域的特色(自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信など)の視点から、日本のさらなる成長に向けて探究したことを表現させる。

(2)本時の展開（11時間扱い11時間目）

学習内容	予想される児童生徒の反応	支援 ■ 評価 ◎
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 本時のめあて 日本が成長するための案を発表しよう。 </div>		
1 発表の流れ確認 （発表順、聞く側の視点【時間と話し方・内容・資料のデザイン】、クラス代表選出について）	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの班は○番目に発表だ。 ・○班の発表が終わった後、すぐに準備しないと。 ・時間内に発表できるようにがんばろう。 ・今日の発表から、クラス代表が1名選出されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■聞く側の視点は、クラス代表を選出するときの選考材料にするように伝える。
2 発表 （準備：1分、発表5分、質問2分 計8分）	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの班では、日本が成長していくためには○○と○○に取り組むべきだと考えます。 ・○班の○○という考え方もあったな。 ・○○という言葉の意味は何だろう。質問しよう。 ・○○の考えは、現実的ではない気がするな。 	<ul style="list-style-type: none"> ■発表準備がスムーズに行くように手伝う。 ■発表終了ごとに、タブレットに評価を記入することを伝える。 ◎探究したことを分かりやすく相手に発表することができている。 ◎発表を聞いて、疑問点などを発言している。
3 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の発表で一番良かったのは、○班だな。理由は、○○だから。 ・○班の○○という考えは面白かった。 ・○班の成長戦略の内容も良かったが、話し方が分かりやすくてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■投票と振り返りを行うように伝える。